

世界を熱狂させた天才ダンサー ロイ・フラーとイサドラ・ダンカン、 ふたりの情熱がぶつかり合う、夢と愛の行方は——？

ロートレック、ロダン、コクトーらのミュージズ
〈シルクと光のダンス〉で、新時代を切り開いた
伝説のダンサー、ロイ・フラーの驚愕の実話

暗闇の中から光の花が現れた——19世紀末ベル・エポック。世界にひとつのダンスで、熱狂を巻き起こしたダンサーがいた。彼女の名は、ロイ・フラー。マネの絵でも有名な〈フォーリー・ベルジュール〉で、一夜にして時の人となる。それは、自ら色や角度を設計した光の照明の中で、シルクの衣装が様々な形を織りなす、誰もが初めて目にするダンスだった。“モダンダンスの祖”と呼ばれ、パフォーマーとしての天才的なセンスが今再び評価されているロイ。偶然見た、長い衣装をまもって踊るロイの写真に衝撃を受けた写真家のステファニー・ディ・ジューストが伝記を基に映画化。女性のダンスが卑しいものとされた時代に、夢を実現するために闘ったロイの強い信念に心揺さぶられる、愛と友情のドラマが誕生した。

ゴージャスでしかも詩的！
リリーの存在が際立っている。
—— ファム・アクチュエル

魅惑される2時間！
—— ル・フィガロ

ロイのライバル、イサドラ・ダンカン役を、“ジョニー・デップとヴァネッサ・パラディの美しすぎる娘”、リリー＝ローズ・デップが熱演！

ロイ・フラーには、ミュージシャンとして大ブレイク、女優としても活躍中のソーコ。体力を消耗するので、3日おきにしか踊れなかったというロイのダンスを見事に自分自身のものとし、不屈の精神を力強く演じきった。ミステリアスなドルセイ伯爵には、『たかが世界の終わり』でセザール賞を受賞した美形実力派ギヤスパール・ウリエル。ロイに見出されるが、後に最大のライバルとなる伝説のダンサー、イサドラ・ダンカンには、リリー＝ローズ・デップ。ただそこにいるだけで人々を虜にするイサドラを完璧に演じ、恐るべき才能を見せつけている。今句で、魅力的なキャストの競演に目が離せない。



ザダンサー

第69回カンヌ国際映画祭
ある視点部門正式出品

第42回セザール賞衣装デザイン賞受賞

バレエの殿堂〈パリ・オペラ座〉での撮影を実現、夢の国へと誘う衝撃と陶酔のダンスが今、スクリーンに蘇る——！

監督:ステファニー・ディ・ジュースト 出演:ソーコ「博士と私の危険な関係」、リリー＝ローズ・デップ「Mr.タスク」、ギヤスパール・ウリエル「たかが世界の終わり」、メラニー・ティエリー © 2016 LES PRODUCTIONS DU TRESOR - WILD BUNCH - ORANGE STUDIO - LES FILMS DU FLEUVE - SPREVA FILM
原題:La Danseuse/2016年/フランス・ベルギー/仏語・英語/108分/日本語字幕・横井和子/配給:コムストック・グループ/配給協力:キノフィルムズ/宣伝:セテラインターナショナル www.thedancer.jp

6/3 (土) 公開

新宿駅東口・伊勢丹メンズ館そば
新宿ピカデリー
03(5367)1144
www.smt-cinema.com/site/shinjuku/

銀座4丁目交差点 和光ウチ通り
シネスイッチ銀座
03(3561)0707 全席指定・入替制
www.cineswitch.com

渋谷・東急本店ヨコ
Bunkamura ル・シネマ
03(3477)9264
www.bunkamura.co.jp

特別鑑賞券1,500円(税込) 絶賛発売中！ ムビチケ4/8(土)より販売予定 劇場窓口で鑑賞券、ムビチケをお買い求めのお客様に限り映画オリジナルポストカードセットをプレゼント。(限定数)